

14,000 人の家族会議、はじめます。

～富士見町総合計画策定のためのアンケートご協力のお願い～

町民の皆さまへ

日頃より町政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

突然ですが、皆さまのご家庭では「**家族会議**」をすることはありますか？

引っ越しのこと、子どもの進学のこと、おじいちゃんの暮らしのこと——家族の将来に関わる大事なことは、みんなで話し合っ
て決めると思います。

この町に暮らす 14,000 人は、いわばひとつの大きな家族です。でも、いまこの家族は大きな変化のなかにいます。うれしい変化もあれば、心配なこともあります。

「これからの富士見町を、どんなまちにしていくな」「どんな富士見町だったら安心して、希望をもって暮らし続けることができるのか」を考えるために、富士見町でも「家族会議」を開きたいと思っています。

皆さまが安心して、富士見町に住み続けられるように、家族の一員としてご意見をいただければうれしいです。

令和 8 年 4 月
富士見町長 渡辺 葉

『もし富士見町が「10 人家族」だったら』(富士見町の現状)

- おじいちゃん、おばあちゃんが3人、働き手が5人、子どもが2人います。
- 豊かな自然に囲まれ、都心へのアクセスもよく、移住者など新たなご近所さんも増えてきています。
- 家を出た子どもは都会からなかなか帰ってきそうにありません。
- 収入が減り、貯金も切り崩し始めており、このままだと、あと5年で貯金が底を尽きてしまいそうです。
- 一方で、家が老朽化してきて、修繕に多額のお金が必要です。
- このままでは家族のために必要なお金が足りなくなってしまうかもしれません。



富士見町の現状を詳しく
知りたい方はこちら↓



そうならないために、皆さんの想い、アイデアが必要です。
富士見町の未来を一緒に考えてください。

回答方法

<LINE で回答>

富士見町公式 LINE から回答ができます。右の二次元コードから回答してください。

<回答用紙で回答>

回答用紙の場合は、同封の返信用封筒にて投函してください。



回答はこちらから↑

回答締切: 5月15日(金)まで



(お問い合わせ先)
富士見町企画財政課企画統計係
TEL: 0266-62-9332

1. 就学前の乳幼児 2. 保育園・幼稚園・認定こども園に通っている子ども
3. 小・中学生 4. 高校生 5. 65 歳以上～74 歳以下の方 6. 75 歳以上の方
7. 要介護認定者 8. 障害者手帳所持者 9. いずれもない

問 1-7 お住まいの地区をお答えください。(1 つに○)

富士見地区	1. 御射山神戸区	2. 栗生集落組合	3. 大平区	4. 松目区
	5. 原の茶屋区	6. 若宮区	7. 木之間区	8. 花場区
	9. 休戸区	10. 横吹区	11. とちの木区	12. 富士見区
	13. 南原山集落組合	14. 富原区	15. 富士見ヶ丘区	16. 塚平区
	17. 富ヶ丘区			
本郷地区	18. 乙事区	19. 立沢区		
落合地区	20. 瀬沢新田集落組合	21. 富里区	22. 富士見台区	23. 桜ヶ丘区
	24. 下蔦木集落組合	25. 上蔦木区	26. 神代区	27. 烏帽子区
	28. 平岡区	29. 机区	30. 先能集落組合	31. 瀬沢区
境地区	32. 小六区	33. 高森区	34. 信濃境区	35. 池袋区
	36. 田端区	37. 先達区	38. 葛窪区	39. 広原区

問 1-8 富士見町での居住年数をお答えください。(合併前の町村も含む)(1 つに○)

※これまでに生活した期間の合計年数をお答えください。

1. 1 年未満 2. 1～5 年 3. 6～10 年 4. 11～20 年 5. 21～30 年 6. 31 年以上

問 1-9 出身地についてお答えください。(1 つに○)

※15 歳までの期間に最も長く住んだ場所を出身地とします。

1. 富士見町 2. 諏訪圏(岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、原村)
3. 県内(諏訪圏以外)
4. その他(都・道・府・県)

問 1-10 お住まいの状況をお答えください。(1 つに○)

1. 持ち家(自己／家族所有) 2. 公営住宅(県営・町営住宅など)
3. 民営の賃貸住宅 4. 社宅・寮・公務員住宅
5. その他()

問 2:富士見町への定住意向について

問 2-1 これからも富士見町に住み続けたいと思いますか。(1 つに○)

1. はい 2. どちらかといえばはい 3. どちらともいえない 4. どちらかといえばいいえ 5. いいえ

問 2-2 前の設問で選択した内容について、その理由をご記入ください。

--

問3:富士見町の現状について

以下の項目について、「現在、富士見町で生活する中でどのように感じているか」について、あなたのお考えに最も近い番号に、1つ〇をつけてください。

No	項 目	そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わない	そう 思わない	わ か ら な い
1	区・集落組合が機能し、自立的な地域づくりが行われている					
2	移住者が地域に定着している					
3	上下水道の整備が行き届いている					
4	公共施設が適切に維持・管理されている					
5	公民館などで学びの機会が提供され、多くの人に利用されている					
6	スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている					
7	地域の特性を活かした適切な都市計画の推進がされている					
8	交通弱者に必要な公共交通網が整備されている					
9	地域における地球温暖化防止の取組みが進んでいる					
10	富士見町らしい、美しい景観が保たれている					
11	防災訓練が十分に行われている					
12	地域の消防団による活動が活発に行われている					
13	いじめや児童虐待など悩みを抱える子どもや家庭を支援する環境が整っている					
14	子どもを産み育てやすい地域だと思う					
15	幼少期に豊かな体験ができる保育体制が整っている					
16	保育に満足している					
17	障がい者が安心して生活していける環境が整っている					
18	高齢者が生きがいを感じ、住み慣れた地域で暮らしていける環境が整っている					
19	毎日の生活に満足している					
20	町政に関する情報を入手する環境が整っている					
21	行政運営の現状について把握できている					
22	行政の支援や補助制度はわかりやすい					
23	町に愛着を感じている					
24	家族から町に住み続けることをすすめられたことがある					
25	町での働き方・暮らし方について具体的に知る機会があった					

問 4:これからの富士見町にとっての重要な取り組みについて

問 4-1 今後、行財政改革を進めるにあたり、特に重要だと思う取組を 3 つまで選んでください。

- ☐ 誰もが参加できる住民との対話の場の充実
- ☐ 審議会や委員会での住民の意見・年齢・性別等の多様性の担保
- ☐ 行財政改革の内容の分かりやすい情報発信
- ☐ 住民・事業者と連携した取組(参加型まちづくり)の推進
- ☐ 事業の効果検証と見直し(無駄の削減)
- ☐ 指針に基づいた補助金の見直し
- ☐ 公共施設の長寿命化・複合化・統廃合の推進
- ☐ 公共施設や土地の民間活用(民営化・売却など)
- ☐ オンライン手続きの拡充や窓口の改善(フロントヤード改革)
- ☐ AI やデジタル技術を活用した業務効率化
- ☐ 職員の働き方改革(人員配置見直し・柔軟な働き方)
- ☐ 人材育成やスキル向上による行政サービスの質向上

問 4-2 今後、町の財源確保のために特に重要だと思う取組を 3 つまで選んでください。

- ☐ 国・県の補助金を積極的に活用する
- ☐ 企業版ふるさと納税の拡大
- ☐ ふるさと納税の増額(返礼品や魅力向上)
- ☐ 企業誘致の推進
- ☐ 新たな収入確保の仕組みの検討(観光課税やネーミングライツなどの収益事業)

問 4-3 若い世代の帰郷・移住・定住を促進するために重要だと思う取組を 3 つまで選んでください。

- ☐ ターゲットに魅力が伝わる情報発信の強化(SNS・動画など)
- ☐ 情報発信における住民との連携
- ☐ 移住相談や移住後のサポートの充実
- ☐ 地域とのつながりづくり(コミュニティ支援)
- ☐ 富士見町ならではの教育の魅力発信
- ☐ 都市と地方を行き来する学び(デュアルスクール等)の推進
- ☐ 体験型・長期滞在型の観光地域づくりの推進による雇用や関係人口の増加
- ☐ 働く選択肢の拡充(広域の仕事情報発信・多様な働き方応援)
- ☐ ものづくり企業への支援
- ☐ 創業・事業承継・にぎわい創出の支援
- ☐ 空き家活用や賃貸・売買住宅の確保
- ☐ 宅地造成や住宅用地の供給

問 4-4 農業の維持・発展のために重要だと思う取組を 3 つまで選んでください。

- ☐ 農地の担い手へのマッチング支援
- ☐ 集落ぐるみで農地を維持する仕組みづくり
- ☐ 兼業農家への支援
- ☐ 農地の基盤整備・集約化・大規模化
- ☐ 高収益作物や特産品の振興
- ☐ 農業体験や観光農業の推進
- ☐ 有害鳥獣対策の強化
- ☐ 森林整備・里山の活用

問 4-5 集落の維持や地域の支え合いのために重要だと思う取組を 3 つまで選んでください。

- ☐ 集落の将来ビジョンづくりの支援(各集落の人口推計の分析・事例共有・話し合いの促進)
- ☐ 区の負担軽減や役の見直し
- ☐ 誰もが参画しやすい区政・地域活動づくりと情報発信
- ☐ 住民と連携した地域拠点づくり(買い物・交流など)

問 4-6 交通や地域拠点の整備で重要だと思う取組を 3 つまで選んでください。

- ☐ 自宅付近から目的地をつなぐデマンド交通の拡充
- ☐ スクールバスの充実
- ☐ 富士見駅周辺のまちづくり(都市計画の見直しも含む)
- ☐ 信濃境駅周辺の地域づくり(新井戸尻考古館と藤内遺跡も含む)
- ☐ すずらの里駅周辺の交通拠点整備

問 4-7 安心・安全な暮らしのために重要だと思う取組を 3 つまで選んでください。

- ☐ 道路・橋・上下水道などインフラ整備
- ☐ 消防団のなり手不足対策や地域防災体制の維持
- ☐ 各地域の防災拠点や避難所の維持
- ☐ エネルギーの地産地消に向けた取り組み
- ☐ ごみ減量やフードロス対策

問 4-8 健康で安心して暮らすために重要だと思う取組を 3 つまで選んでください。

- ☐ 健康体操・教室・アプリなどの拡充
- ☐ 健康づくりに関する住民の活動支援
- ☐ 交流の機会の拡充(おたっしや広場や地区社協サロンなど)
- ☐ シニア世代の活躍機会の拡充
- ☐ 地域医療の確保
- ☐ 介護人材の確保・体制強化

問 4-9 子どもや若者の育ちを支えるために重要だと思う取組を 3 つまで選んでください。

- ☐ 妊娠・出産・子育て支援の拡充
- ☐ 共働きや核家族でも子育てしやすい環境づくりのための支援
- ☐ 地域と連携した教育の充実
- ☐ 子ども・若者の居場所サポート
- ☐ 子ども・若者の意見をまちづくりに反映
- ☐ 部活動の地域展開支援
- ☐ 地区子ども会活動の活性化に向けた支援
- ☐ 住民主体のスポーツ・文化活動の推進

問 4-10 今後 4 年間で特に重点的に取り組むべき分野を 3 つ選んでください。

- ☐ 住民との対話から創る行財政改革
- ☐ 財源確保
- ☐ 若い世代が帰りたくなるまちに向けた整備と発信(教育・仕事・住まい)
- ☐ 持続可能な農業のための農地の担い手づくり
- ☐ 支え合い暮らせる集落と拠点
- ☐ 駅と各地域をつなぐまちづくり
- ☐ 安心・安全の基盤整備(インフラ・防災・環境)
- ☐ いつまでも元気で活躍できる生活の支援
- ☐ 子ども・若者・大人も自分らしく育ち合えるまちづくり

問 4-11 上記以外に、今後の富士見町に必要なと思う取組があればご記入ください。

--

ご協力ありがとうございました。